

市議会だより



発行 〳 渋川市議会
編集 〳 渋川市議会報編集委員会

2023年(令和5年) 11月1日 第72号



広報と一緒にとじて保存しましょう



表紙の写真：津久田人形芝居櫻座生誕 300 年祭

令和5年

9月渋川市議会定例会

■本会議のあらまし	2ページ
■常任委員会の審査	3ページ
■令和4年度渋川市決算を審査(決算特別委員会)	4～7ページ
■一般質問(14人の議員が市政を問う)	8～15ページ

令和5年 9月定例会

令和4年度決算を認定 補正予算は可決

あらまし

令和5年9月定例会は、9月5日から9月27日までの23日間の日程で開かれました。市長専決処分の報告3件のほか、人事案件、条例の制定・一部改正、令和5年度補正予算、令和4年度決算等の市長提出議案が25件、請願5件が提出され、一部を除いて各常任委員会、決算特別委員会に付託され、慎重に審査・審議を行いました。議案は副市長人事案件を除き原案のとおり可決・同意・認定し、請願は3件が採択、2件が不採択となりました。また、議員からは市の保有する個人情報漏えいの調査に関する決議案1件、意見書案3件、懲罰動議2件が提出され、決議案は否決、意見書案はすべて可決しました。懲罰案件については2件とも懲罰を科さないこととしました。

市長専決処分の報告

市有地にある桜の根が、個人宅敷地内に侵入し、浄化槽を破損させた事案ほか2件について和解及び損害賠償額の報告がありました。

人権擁護委員候補者の推薦の同意

令和5年12月31日の任期満了に伴い、吉井浩氏、萩原澄之氏、眞下広司氏が推薦され、全員一致で同意しました。

財産(消防ポンプ自動車)の取得

老朽化した消防ポンプ自動車を更新し、円滑な消防活動を図ろうとするもので、

全員一致で可決しました。消防団第10分団(祖母島・上村、金井・大野)に配備されます。

渋川市副市長の選任の同意

不在となつている副市長に伊勢久美子氏を選任しようとするものです。賛成少数(賛成8人・反対9人)で同意しないこととしました。

渋川市市長会見に関する調査第三者委員会設置条例

7月7日に行われた市長記者会見の内容について調査する第三者委員会を設置するため、条例を制定するものです。賛成多数で可決しました。

令和5年度一般会計補正予算(第4号・第5号)

第4号は、主に生活困窮世帯の経済的負担軽減による小中学生の学習環境支援のための予算、民間保育所の放課後児童クラブ等への物価高騰対策費の一部補助のための予算、渋川医療センター歯科口腔外科新設支援のための予算、県指定天然記念物ヒメギフチョウ緊急保全対策のための予算など4億6841万6000円を追加するもので、全員一致で可決しました。

第5号は、市長記者会見の内容を調査するための予算60万円を追加するもので、賛成多数で可決しました。



歯科口腔外科が新設される
渋川医療センター

懲罰動議

2人の議員に対する懲罰動議がそれぞれ提出され、懲罰特別委員会が設置され、慎重審議の結果、2件とも懲罰を科すべきものでないと認めるとの結論に至りました(詳細は7ページ)。委員会の審査結果に基づき本

会議で採決したところ、2件とも可否同数となり、議長裁決により懲罰を科さないことと決定しました。

市の保有する個人情報漏えいの調査に関する決議

市の保有する個人情報の漏えいについて、調査特別委員会を設置し調査しようとする決議案が提出され、賛成少数で否決しました。

令和4年度決算認定

一般会計決算、7つの特別会計決算、そのほか水道事業会計欠損金の処理及び決算、下水道事業等会計決算についてすべて認定しました(詳細は4ページ)。

常任委員会の審査

総務市民

審査結果 付託された4議案及び請願1件は全会一致または多数決で可決・採択しました。請願2件は願意に沿いがたく、不採択としました。

滋川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

福祉医療費の支給に関する事務において、マイナンバーの情報提供ネットワークシステムを活用するための条例改正です。

質疑 ネットワークシステムの活用によるメリットは。
答弁 申請に必要な個人情報情報を情報連携により市側で確認できるようにするため、申請書の添付書類を省略で

きるようになります。

滋川市市長会見に関する調査第三者委員会設置条例

質疑 第三者委員会を設置し、調査することによる市のメリットは。
答弁 市長の見解等はすでに示されていますが、客観性を持った意見が市において示されておりません。今後の市の対応に当たり、今回の調査により客観的な判断を得ることができると大きなメリットです。

経済建設

審査結果 付託された3議案はすべて全会一致で可決しました。

市道の廃止・認定について

質疑 赤城町中原土地改良事業の完了に伴い今回認定する道路や、そのほかの道路の側溝の設置状況は。

答弁 農地や建物への出入口のほか、危険性の有無によりグレーチングを設置しています。

団体営滋川第五地区(八木沢貯水池)土地改良事業の施行について

質疑 大型重機使用の工事が通行止め等になるのか。
答弁 全面通行止めにはせず、片側通行となります。

経済建設常任委員会協議会

市から「SUNおのがみ等の譲渡の方針について」、「本市の路線バス等を取り巻く状況について」、「水道料金の改定方針について」報告・説明がありました。



譲渡する方針のSUNおのがみ

教育福祉

審査結果 付託された1議案及び請願2件はすべて全会一致で可決・採択しました。

教育福祉常任委員会協議会

市から、次の事項について報告・説明がありました。
国民健康保険あかぎ診療所の再開に向けた取組の経過について

質疑 施設のうち、診療施設としての活用が想定されない部分の有効活用を図るとあるが、診療施設機能に先行して部分的に活用を始めるられないか。
答弁 診療施設機能のめどが立ち、その使用範囲が定まってからでないとは難しいと考えます。

古巻公民館の整備に関する現状と今後の対応について

質疑 今後さらに物価高騰が進んでも予算は足りるか。
答弁 物価高騰分を10%程度見込んで積算しています。

予算

審査結果 一般会計補正予算(第4号)、介護保険特別会計補正予算(第1号)は全会一致で可決、一般会計補正予算(第5号)は多数決で可決しました。

児童手当支給事業(延長支給分)

高校生世代の子どもの保護者に支給を予定している3万円分の渋谷Payポイントに、1万円分を加算して計4万円分を支給します。

質疑 児童手当支給事業の対象者数、支給開始時期は。
答弁 対象者は1900人で、対象者に10月に通知し、12月から支給開始します。

物価高騰対策児童・生徒学習支援事業

準要保護認定世帯の児童生徒の学習環境を支援するため、対象世帯の保護者に、児童生徒1人当たり3万円を支給し、学習にかかる経済的負担を軽減します。

歳入総額 633億5568万4639円

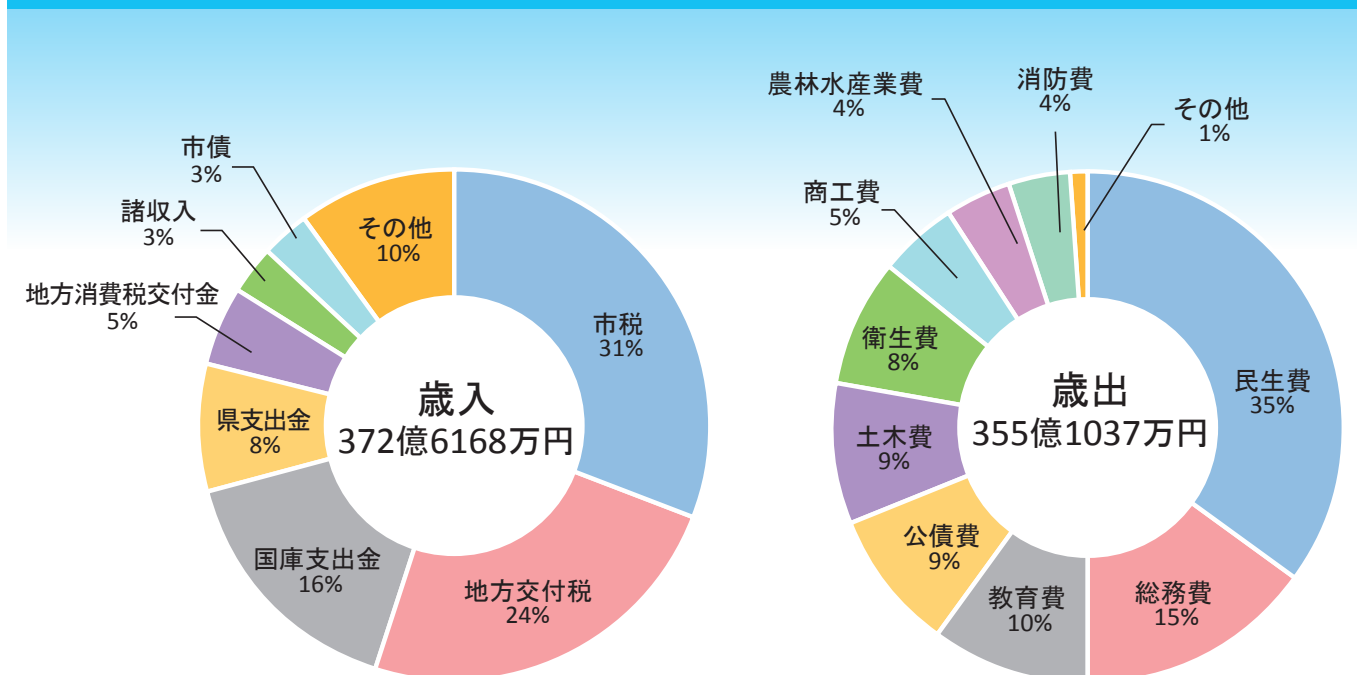
歳出総額 625億7893万5923円

令和4年度決算を認定

（決算特別委員会）

		歳入	歳出	
一般会計		372億6168万9980円	355億1037万7076円	
特別会計	国民健康保険	88億3076万2046円	86億9193万5055円	
	後期高齢者医療	11億8844万7100円	11億8312万6562円	
	介護保険	91億4265万9665円	88億1745万9966円	
	農産物直売事業	355万8355円	355万8355円	
	伊香保温泉観光施設事業	1億6809万4365円	1億2336万2550円	
	小野上温泉事業	2978万7654円	2978万7654円	
	交流促進センター事業	2025万4938円	2025万4938円	
企業会計	水道事業	収益的収入・支出	17億9711万6532円	18億869万5560円
		資本的収入・支出	4億6693万1560円	14億353万3175円
	下水道事業等	収益的収入・支出	26億3836万9183円	25億3803万928円
		資本的収入・支出	18億801万3261円	24億4881万4104円

一般会計決算額の内訳



みなさんの税金の使い道の一部です

民生費 125億7794万円 物価高騰対策 緊急生活支援事業 4457万円 高齢者世帯エアコン購入費 助成事業 202万円	総務費 53億1414万円 移住者定住支援事業 6693万円 デジタルガバメント 推進事業 799万円	教育費 37億2613万円 小学校スタディ アシスタント事業 1556万円 美術館移転事業 5948万円	土木費 30億7577万円 交通安全施設整備事業 4427万円 道路維持管理事業 3億3910万円
衛生費 26億7067万円 地球温暖化対策 推進事業 774万円 すこやか子育て 発達支援事業 1883万円	商工費 17億8494万円 しぶかわ創業開業 支援事業 1179万円 しぶかわ暮らし 応援キャンペーン事業 2億4817万円	農林水産業費 15億2920万円 有害鳥獣対策事業 2835万円 農林業者物価高騰 対策支援事業 290万円	消防費 12億5165万円 消防ポンプ車購入事業 2709万円 防火水槽新設事業 1978万円

令和4年度一般会計

令和4年度一般会計決算、国民健康保険特別会計決算は多数決、そのほかの決算は全会一致で原案のとおり認定しました。決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

職員人件費

質疑 職員人件費がマイナスとなった要因は。

答弁 定員管理計画を上回る職員の退職により職員数が700人となり、2・4%減少しました。

診療所改革推進事業

質疑 国保あかぎ診療所の不動産鑑定目的と評価額は。

答弁 国保あかぎ診療所を民間事業者に貸付ける場合の参考とするため、不動産鑑定を行いました。鑑定額は、土地2200万円・建物6800万円です。

地域の魅力総合発信事業

質疑 地域の魅力総合発信

事業の目的と実績は。

答弁 市のブランド力の向上を図るため、応援大使の委嘱、ぐんま愛2022への掲載、フィルムコミッション活動の推進を行いました。令和4年度の撮影件数は26件、エキストラ登録者は165人となりました。

移住定住新生活応援事業

質疑 結婚した人からの事業を知らなかったが、まだ申請できるかとの苦情があった。婚姻届等の提出時に十分説明するべき。事業の周知方法は。

答弁 事業の周知については、広報しぶかわ・市ホームページ・窓口パンフレットで行っています。今後も婚姻届等の届け出時に漏れの無いよう周知を図ってまいります。

通園バス安全装置の設置

質疑 通園バス安全装置の設置状況と安全対策は。

答弁 令和5年6月末日までに、市内5施設14台の通園バスに設置を完了しました。安全装置は、人的確認作業を補うものなので、必ず人的確認と、休みの届出が無いときの保護者への連絡を徹底しています。



安全装置が設置された通園バス

高齢者世帯エアコン購入費等助成事業

質疑 予算額2700万円のうち執行額は202万円、36件しか利用されなかった。事業費の積算をどのように行ったのか。

答弁 購入費の2分の1補助(1件当たり上限5万円)

として、500世帯分を予算計上しました。利用者が少なかったことについては、事業の周知が十分でなかったこと、また、近年の温暖化により、エアコン普及率がすでに高かったことが要因であったと考えます。

医療的ケア児支援事業

質疑 予算額450万円に対し、360万円の不用額が発生した原因は。

答弁 事業に必要な人材の確保が遅れたため、不用額が増加しました。人材登用のノウハウや小学校入学時の対応などの課題があります。早期に課題を解決し、事業を推進していきます。

農林業者物価高騰対策支援事業

質疑 予算額1830万円に対し多額の不用額1539万円が生じた理由と事業効果は。

答弁 原油価格の高騰への対策支援として、緊急的に事業対応しました。事業期間の短さと事業周知が十分

でなかったことが、多額の不用額が発生した原因と考えています。

温泉施設管理運営事業

質疑 休止している「たねばなの郷城山」は、取り壊すとの説明を受けているが、地権者との交渉は。また、年間賃借料は。

答弁 賃借料は年額239万6230円です。地権者と調整を行っていますが、合意に至っておりません。現段階でいつ完了するとの回答はできない状況です。

環境にやさしい宿づくり応援事業

質疑 対象事業のアメニティグッズとは、どのような物か。予算額200万円に対し、8万4000円しか利用されていないが、事業は事業者の要望により実施されたのか。

答弁 プラスチック製の歯ブラシ等の宿泊グッズを環境にやさしい素材に変更する事業です。事業者からの要望はありませんでしたが、

国の方針を受けて市が事業を立案実施したものです。

市道折原川島線道路改良事業

質疑 事業の進ちよく状況は。また、令和11年度に事業は完了するのか。

答弁 金井地区から伊香保地区に通ずる道路です。平成30年度から事業を実施しています。令和4年度で用地交渉が完了し、令和5年度から改良工事に着手しました。令和11年度の完成を目指して改良工事に取り組んでいきます。



市道折原川島線道路改良工事

観光戦略推進事業

質疑 予算額1858万円に対し、不用額669万円

が生じた理由と事業内容は。

答弁 県補助金を利用したためアニメトリズムに関する事業に不用額が生じました。事業内容は、本市が舞台となったアニメに関する装飾を市内タクシーや伊香保温泉街に施すことで、アニメトリズムを推進しました。また、外国人観光客のアンケート調査により、観光地にごみ箱が少ないことを踏まえて、だんだん広場と石段ポケットパークにごみ箱を設置しました。

特別支援教育就学奨励費

質疑 事業内容および医療的ケア児の受け入れは。

答弁 学用品・校外活動費・修学旅行費等への支援を行っています。医療的ケア児の受け入れについては、就学2年前から相談を行い、関係機関と連携を図りながら、受け入れを行います。

ふるさと渋川を愛する人材育成事業

質疑 事業の内容は。

答弁 市内の小中学校等に

おいて、地域人材を生かした講演や学習会を実施しました。講演内容は、「命の講座」、「平和学習」、「これからの渋川を考えよう」です。

令和4年度特別会計

国民健康保険特別会計

質疑 未就学児均等割保険税繰入金の内容と内訳は。

答弁 国保税の公費負担として、国が2分の1、県と市がそれぞれ4分の1を負担するものです。未就学児が対象で、対象者は327人です。

介護保険特別会計

質疑 コロナウイルス感染症下での介護保険事業の影響は。

答弁 コロナウイルス感染症の第7・第8波の感染拡大により、居宅介護サービス・地域密着型介護サービス・施設介護サービス・介護予防サービス・特定入所者介護サービス等の給付事業の利用者が減少しました。

※除斥^{じよせき}：議員とその家族の一身上に関する事件や利害関係のある事件については、当該議員はその議事に参与することができず、その議事を取り扱う間は議場から退席となります。

**懲罰特別委員会が
設置されました**

後藤弘一議員は明確な根拠や証拠を示さず除斥^{じよせき}動議を提出したとして、また、加藤幸子議員は議会運営委員会^{ぎぎえんぎん}で議会を冒涇^{ぼうけい}する発言を行ったとして、両議員に対し懲罰を求める動議が提出され、懲罰特別委員会が設置されました。委員会での審査結果は、両議員とも「懲罰を科すべきものでないと認める。」ものでした。理由は次のとおりです。

後藤弘一議員に対する審査結果の理由

9月5日に後藤議員が提出した除斥動議に関する一連の事案について、法令違反は見られない、動議提出は議員の権利である、除斥自体が可決されているので懲罰事犯に当たらないと考える等の意見があり、多数決により、懲罰を科すべきものでないとの結論に至りました。

なお、懲罰を科すべきとする意見として、本除斥動議の提出理由は地方自治法の規定に該当せず除斥自体が法令違反である、除斥の明確な根拠を示すことができなかつた、数の論理の発言は議会制民主主義の否定に当たる等の意見がありました。

加藤幸子議員に対する審査結果の理由

9月6日の加藤議員の議会運営委員会の構成に関する発言について、構成について見解を述べただけであり、無礼の言葉には当たらない、このような事案で議会として制裁を科すに当たっては慎重になるべき等の意見があり、多数決により、懲罰を科すべきではないとの結論に至りました。

なお、懲罰を科すべきとする意見として、議会運営委員会が不平常との発言は容認できない、渋川市議会の民主主義を否定したことは、たとえ問いかけに対する同意であっても許されない等の意見がありました。

**令和5年第2回臨時会の
あらまし(8月10日開催)**

市の保有する個人情報漏えいの調査に関する決議

市から公文書が流出し、保護すべき個人情報^{こじんじょうほう}が漏えいした件について、流出状況や内容から過失ではなく作為的に行われたと推測され、議会として調査特別委員会を設置し、漏えいの経過について真相を解明する必要があるとする決議が提出され、賛成少数で否決しました。

賛成討論

市長自ら第三者に提供したとする市長の記者会見内容と、提供を受けた第三者本人が証言する漏えいの経緯に食い違いがあるため、調査特別委員会^{さつさつとくべついいんぎん}で事実関係を明らかにすべき。

反対討論

市長記者会見にて当該公文書の流出は市長自ら第三者に提供したものと市長が発表しており、議会として漏えいの経緯について真相を解明する理由がなく、捜査機関や司法の場で真実を明らかにすべき。

**令和5年第3回臨時会の
あらまし(10月4日開催)**

市の保有する個人情報漏えいの調査に関する決議

市の保有する個人情報^{こじんじょうほう}漏えいの調査に関する決議を賛成多数で可決し、調査特別委員会が設置されました。委員長に田中猛夫議員、副委員長に山内崇仁議員が選出されました。

渋川市副市長の選任の同意

不在となっている副市長について、伊勢久美子氏を選任しようとするものです。賛成多数で同意しました。

令和5年12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
				本会議 (開会・議案 上程)	本会議 (議案上程)	
3	4	5	6	7	8	9
	一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会 (総務市民 経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
10	11	12	13	14	15	16
	常任委員会 (予算)	休会	本会議 (表決・閉会)			

○本会議は午前10時から開会します。
○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

9月定例会、第3回臨時会における記名投票の賛否一覧

議員名	投票結果																	
	中澤 功史	埴田 裕之	高野 佳美	高澤 幹	福島 丘泰	後藤 弘一	反町 英孝	板倉 正和	田村 なつ江	田中 猛夫	山内 崇仁	田邊 寛治	加藤 幸子	茂木 弘伸	須田 勝	望月 昭治	角田 喜和	
定例会	議員提出第5号 (個人情報漏えい調査)	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後藤議員懲罰※	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加藤議員懲罰※	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
臨時会	市長提出第87号 (副市長選任同意)	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対
(安力川信之議員は、議長職のため表決に加わっていません。)
※懲罰2件は、「懲罰を科すべきでない」とする委員長報告への賛成・反対です。

一般質問

～ 14人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 9 高澤 幹 議員

- 共生社会実現のまち 渋川市
 - 1 渋Payの活用について
 - 2 金融教育について
 - 3 ケアラーバー制度について
 - 4 障がい者支援について

P 10 角田 喜和 議員

- マイナンバーカードについて
- 渋川市における文化財保全対策について
- 市民の健康と暮らしについて

P 11 田村 なつ江 議員

- 市民の暮らしに安全安心を
 - 1 新庁舎建設について
 - 2 市営住宅
 - 3 育都に向けた保育所、幼稚園
 - 4 国保あかぎ診療所

P 12 高野 佳美 議員

- 誰もが幸せを感じ未来に希望を持てるまちづくり
 - 1 市の人口の現状と今後のまちづくり
 - 2 未来を担う子どもたちの教育環境
 - 3 まちの活性化につなげる市民活動の拠点づくり

P 13 加藤 幸子 議員

- 渋川市コミュニティ広場等整備補助金に係る住民監査請求について
- ハラスメントに係る職員アンケート調査結果について
- 市長臨時会見について

P 14 田中 猛夫 議員

- 市政運営について
 - 1 道路・学校施設の維持管理について
 - 2 臨時会の招集について
 - 3 個人情報の保護について

P 15 須田 勝 議員

- 市民のしあわせが第一
 - 1 自治会のあり方
 - 2 終活の介護施設支援

P 9 中澤 功史 議員

- 持続可能な渋川を創ろう
 - 1 居場所づくりについて
 - 2 2040年問題を見据えた市政について

P 10 山内 崇仁 議員

- 渋川の魅力を発信
 - 1 教育環境
 - 2 観光振興

P 11 後藤 弘一 議員

- 教育活動の充実
 - 1 情報モラルの育成について
 - 2 支援が必要な児童生徒への対応について
 - 3 小規模校対策について

P 12 福島 丘泰 議員

- 笑顔あふれる渋川のために
 - 1 自治会の負担軽減
 - 2 J R 渋川駅前広場の利活用について
 - 3 子育て支援

P 13 茂木 弘伸 議員

- 住みよいまちづくり
 - 1 子育て支援のための保育環境について
 - 2 県道高崎渋川線石原地区拡幅について
 - 3 都市計画道路金井新町高源地線ほか1路線について

P 14 埴田 裕之 議員

- 渋川市民のための行政へ
 - 1 農業支援
 - 2 各事業等の実施状況
 - 3 庁用バス
 - 4 庁内資料の管理

P 15 田邊 寛治 議員

- 教育事業の検証と成果について
- 外から見た渋川市と広報戦略について

議会中継や一般質問の詳しい内容は、渋川市議会ホームページから
議会放映システムや会議録検索システムをご覧ください。



一般質問

※ケアリーバー：社会的養護のケアを離れた子ども・若者



高澤 幹

共生社会実現のまち 渋川市

Payの活用

質問 決済額の1%が「こども夢基金」に積み立てられるが、今後の活用方針は。

情報防災部長 本年度は各小中学校の貸出用図書を購入費に充てましたが、来年度以降も将来世代のために有効に活用していきます。

質問 市民が公平に日常的に利用できるようにする取り組みは。

情報防災部長 市の事業を通じて多くの方にPayを知ってもらい、利用者が気軽に利用できる環境づくりが重要と考えます。

金融教育

質問 育都渋川市の特色ある教育の一つとして、独自の金融教育を推進する考えは。

教育長 小中学校での系統的な学びを大切に、家庭との連携を深めたり、消費生活センターの出前講座を活用したりしていきます。

ケアリーバー制度

質問 児童養護施設退所後の子どもたちが、育った渋川市に住み続けることができるよう、支援する

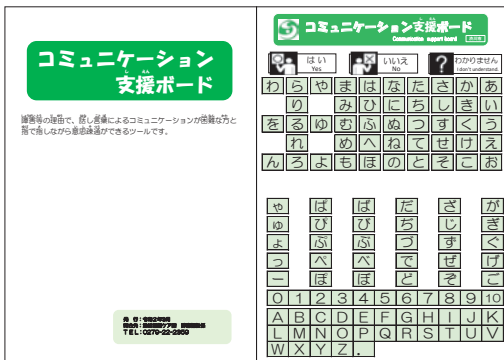
考えは。

育都推進部長 県とも連携し、経済的支援や人的サポートなど、児童の自立に向けた重要な時期をどう支えるか考えてまいります。

障がい者支援

質問 誰一人取り残さない渋川市として、災害時の障がい者に対する対応は。

情報防災部長 情報伝達では、電話やFAXで緊急情報等をお知らせするサービスを行い、避難所では、コミュニケーションボード等を使用し、意思疎通を図ります。



渋川市のコミュニケーションボード

※芸術の森構想：昭和61年1月に策定した、市全体を「芸術の森」に見立て、野外彫刻を設置し、芸術作品が日常の一部として存在する文化の香り高いまちづくりの構想

※2040年問題：少子化による急速な人口減少と高齢者人口がピークに達する2040年に直面すると考えられている問題の総称



中澤 功史

持続可能な渋川を創ろう

居場所づくりについて

質問 新美術館の使命・役割について、芸術の森構想における位置づけと関連付けて説明を求めます。

教育部長 「芸術の森」の拠点として、人々がつながり・ひろがることに重点を置いた、市民の誇りとなるような施設を目指します。

質問 移動式ユニバーサルシートを用意して医療的ケア児とその家族の居場所をつくる考えはあるか。

市長 難病の子どもを抱える家族がさまざまな場所や行事に外出できるように、支援を行っていきます。

質問 渋川の居場所を有機的に結びつけて関係人口を増やす政策について、具体的な考えはあるか。

総戦略部長

地域への愛着を高めることや、市の魅力の発信や発信にも力を入れ、シティブランドの確立に向け取り組んでいきます。

の取り組みと今後の見通しは。

総戦略部長 市が、まちを支える地域団体や地元企業に対し、財源や人材を支援し共に協力し合える仕組みづくりを進めていきます。

質問 市の実情の把握や目指すべき未来像とその実現方法を共有する「地域の未来予測」を整理し、2040年問題に迅速に取り組む予定はあるか。

総戦略部長 人口減少問題を誰かが「わが事」としてとらえ、長期的な視点で未来戦略を考えていくための検討を進めていきます。



新美術館のロゴマーク



角田 喜和

ヒメギフチョウ「絶滅危機」 対策を急げ

質問 関東では赤城山にしか生息しない県指定天然記念物、ヒメギフチョウの卵が今年は93個しか確認できず、絶滅の危機にある。成虫の羽化数を下支えするため一定期間の累代飼育が必要と考えるが、

教育部長 県の許可が必要であり、また、市では専門の職員・設備がなく責任ある累代飼育の実施は困難です。県直営で取り組んでもらえるよう要望書を提出しています。

質問 幼虫の食草であるウスバサイシンの増殖は喫緊の課題。シカの被害も含め、その対策は。

教育部長 種を採り栽培していますが時間が必要です。シカ対策は現在の対策に加え、新たな獣害防止柵を冬になる前に設置します。

質問 市が保険者である国民健康保険において、マイナンバーカードに保険証機能をひも付けした被保険者数は。また、ひも付け情報に誤りが無いか本人が確認可能か。

育都推進部長 令和5年7月の状況では、保険証の機能をひも付けている方は、9098人です。

情報防災部長 保険証情報の確認はスマートフォンによりご本人でできますが、不慣れな方は市の窓口で確認のお手伝いをします。

質問 市は国民健康保険の被保険者に保険証を届ける義務がある。マイナ保険証は5年ごとに更新が必要となるが、更新漏れで無保険者扱いにはならないのか。

情報防災部長 国はマイナ保険証を保有していない方すべてに、申請によらず資格確認書を交付する方針としていることから、無保険扱いにはならないと考えます。



ヒメギフチョウの産卵と産み付けられた卵



山内 崇仁

渋川市の魅力を発信

教育環境

質問 小規模特認校制度の今後の方向性をどのように考えるか。

教育長 小規模校の特色を生かした魅力ある学校の在り方を研究していくとともに、小中学校の適正配置検討委員会の中でも検討していきます。

質問 昨年度からコミュニティスクールの導入されたが、どのような効果があったか。

教育部長 「地域とともにある学校」づくりにより学校運営協議会が主体的にかかわり、実情に合った活動が進められ、地域連携の深まりや地域の活性化等があげられます。

質問 「誰一人取り残さない安心して学べる学校・園」についての考え方は。

教育長 学ぶ楽しさを味わえる授業や、誰もが自信と誇りを持てる教育活動の充実、地域とともにある学校づくり、安心して学べる教育環境づくりが大切と考えます。

観光振興

質問 スマートフォンを活用した



あじサイクルと祖母島駅

渋川市独自の特色ある観光プロモーションシステムの構築ができれば。

産業観光部長 グーグル検索や旅行サイトの口コミ評価で高評価を得られるよう情報発信を行い、観光客に分かりやすく、目にとまるホームページづくりに努めます。

質問 あじサイクルの貸出場所を増やす等の拡充の考えは。

産業観光部長 利用者ニーズを把握するとともに、電動自転車のバッテリー充電、維持管理費用等の問題を総合的に研究していきます。

一般質問



田村なつ江

市民の暮らしに安全安心を

新庁舎建設について

質問 本庁舎の耐震基準を満たしていない部分は倒壊または崩壊する危険性があるとのことだが、新庁舎の建設は進んでいない。どのように考えているのか。

総務部長 DXの進展やコロナ禍における働き方の変化などの影響を考慮し、基本方針を見直します。

質問 大きな地震で倒壊するかもしれない本庁舎東側。新庁舎建設の検討を進めていただきたい。市長の見解を求めます。

市長 既定の基本方針を抜本的に見直し、必要な庁舎の規模や在り方について研究をしていきます。

市営住宅について

質問 高齢化社会の対応としてバリアフリー化などの対策は。

建設交通部長 これまでに、共用階段や浴室、トイレなどに手すりを設置しました。

育都に向けた保育所・幼稚園

質問 保育需要が高まっているが、保育士の処遇改善を行っているか。

育都推進部長 保育士の給与を引



老朽化した市役所本庁舎

き上げるため、上乗せをした運営費を各施設に交付しています。

質問 園児数が減少している公立幼稚園の今後の対応は。

育都推進部長 施設を設置しているそれぞれの地域の実情に応じたさまざまな方法を検討します。

国保あかぎ診療所

質問 あかぎ診療所の再開に向けて今後の取り組みは。

育都推進部長 地域の医療機関として、一日も早く、持続可能な利活用を図ることができるよう、しっかりと取り組んでまいります。



後藤 弘一

教育活動の充実

情報モラルの育成

質問 インターネットリテラシーの周知をどのように行っているか。

教育長 学校では、授業や外部講師を招いた特別授業を行うなど繰り返し指導しています。また、子どもたちだけでなく、保護者への周知も大切と考えます。

質問 生成AIの活用の考えは。

教育長 便利でさまざまな教育活動に有効だと考える一方、活用上の課題や危険性もあり、適切に活用できる力の育成が子どもたちにも教師にも必要であると考えます。

支援が必要な児童生徒への対応

質問 職員定数確保の実態は。

教育部長 市内小中学校においては、授業を担う教職員の定数は満たしている状況です。補助者をあてる場合は、すぐに対象者が見つからない場合もあります。

質問 会計年度任用職員の職種と確保状況は。

教育部長 特別支援教育支援員やスタディアシスタント、ウォームアップティチャー、複式解消非常

勤講師などがあります。2学期始業式時点では確保できております。

小規模校対策

質問 複式学級の現状と対応は。

教育部長 小野上小学校に複式学級があります。小規模な学校における教育活動の一層の活性化を図るために、伊香保小と小野上小を小規模特認校と定めています。

質問 来年度に向けての対応は。

教育部長 複式解消非常勤講師のさらなる効果的な活用について研究していく一方で、改善点は県へも要望を伝えていきたいと考えます。



小規模校の授業風景



高野 佳美

未来に希望を持てるまちづくり

市の現状と今後のまちづくり

質問 欧州最低水準の出生率だったスウェーデンは、「出生率の低下は、個人ではなく社会構造にある。個人の自由を認めつつすべての子どもを対象とした支援を社会全体で行うべき」とする政策で、高出生率国となった。人口減少社会の中、市はどのように考え、どのようなビジョンを持ち市政運営を進めていくのか。

総合戦略部長 公共交通と連携したコンパクトシティ、女性活躍や共生社会の推進、限りある資源の有効活用など、人口減少社会に対応し持続可能なまちづくりの方策について早急に検討していきます。**未来を担う子どもたちの教育環境**
質問 経済的余裕がない家庭の子どもたちが、バウチャーと呼ばれる利用券を使い、塾や習い事、やってみたいことに挑戦できる事業を行っている県がある。さまざまな状況に置かれた子どもたちに教育格差が生じぬよう、渋川市ではどのような取り組みがあるか。

教育部長

本市では就学援助費を支給したり、個別の支援を必要とする児童生徒へは特別支援教育支援員等のさまざまな職種の教職員を配置したりしています。

まちの活性化につなげる市民活動の拠点づくり

質問 市民活動の拠点として市の遊休施設を利用する考えは。

市長 人口減少が進む中、まちの活力維持のために遊休施設の活用は重要なことです。市民と協働して遊休施設を活用し、まちの活力の維持につなげていきます。



誰もが「やってみたい」をかなえられる渋川へ

自治会の負担軽減

質問 自治会長を対象に、6月に行ったアンケート結果については。

市民環境部長 自治会活動を行う上での課題や、市が自治会に依頼する業務に対して負担や必要と感じる項目等を確認しました。

質問 持続可能な自治会運営に向け、今後どのように全庁を挙げた見直しをするのか。

総合戦略部長 自治会の現状や意見を伺いながら、市から依頼している業務の効率化、簡素化に向けた取り組みを進め、自治会の負担軽減に全庁を挙げて取り組みます。

渋川駅前広場の利活用について

質問 ふるさと応援寄付金事業を使った、イベント実施団体の負担軽減につながる助成制度などの方策については。

情報防災部長 ふるさと応援寄付金を活用したクラウドファンディングにより、迅速な事業執行が期待されるため活用を検討します。

子育て支援

質問 市内で最も古い第四保育所



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために

と第五保育所の今後については。

育都推進部長 公立施設の役割や民間施設の特長を踏まえるとともに、新制度に取り組む国の動向にも注視しながら検討を進めます。

質問 渋川の発展には南部開発が重要。地元が要望している、防災公園と第四保育所の古巻公民館隣りへの移転建設については。

市長 渋川市の南部開発において、老朽化が進んでいる第四保育所の施設整備は、重要な要素の一つです。今後もしっかりと検討を進めてまいります。



二階の高まる公立保育所
老朽化が心配される第四保育所

一般質問



加藤 幸子

中立・公正な

第三者委員会の設置を

質問 津久田第三自治会の看板設置補助金をめぐり、住民から提出

された監査請求に基づき監査が実施され、市は補助金の返還を求めべきとの勧告を受けたと聞く。市の補助金交付と再発防止策についての考えは。

市長 監査委員の勧告を尊重し、補助金の返還を求めました。また、自治会の運営が民主的で公正に行われるよう、指導を行います。今後、規則や要綱等を厳正に判断し、適正な公費の支出に努めます。

質問 市が実施したアンケートの結果、市議からのハラスメントを職員の9・7%(56人)が受けたと回答。具体的にどのような被害を受けているのか。今後の対策は。

総務部長 主に、理不尽な要求、威圧的な発言、意に沿わない対応へのどう喝、執務室内への無断立ち入り、酌の強要などです。

市長 職員が安心して職務に専念できるよう議会において必要な対策を講じていただきたいと思います。

市長臨時会見について

質問 7月7日の市長臨時会見で発表した固定資産情報等の流出の案件について、市議会党派の創生、笑顔みらい、日本共産党市議団から、第三者委員会を設置・調査し、市民に報告を求める要望書を市長へ提出した。この要望に対する市長の今後の対応は。

市長 3党派から第三者による調査委員会設置の要望を受けました。今後、要望を受け、弁護士などの学識経験者による委員会を設置し、情報提供の背景も含め早急に調査を行ってまいります。



酌の強要もハラスメント



茂木 弘伸

住みよいまちづくり

子育て支援のための保育環境

質問 保育士の人材不足につながる厳しい労働環境について認識は。

育都推進部長 人材不足や給与の低さが課題であり、保育士の待遇等を改善することにより、保育の質が向上されると考えます。

質問 公立保育所より民間保育所の方が保育士の給与が安いと聞くが、市独自の改善の考えは。

育都推進部長 まずは人材確保により保育士の環境改善を進めます。

市長 処遇改善のため市ができることにしっかりと取り組みます。

質問 適正配置に当たり、民間活力の活用が重要と考えるが。

育都推進部長 柔軟で特色のある保育を実施する民間施設との連携等により、保育施設等を適正に配置するための検討を進めます。

県道高渋線石原地区拡幅について

質問 事業の進捗よく状況と今年度、来年度の工程は。

建設交通部長 令和4年度から今年度にかけて用地測量・用地調査、電線共同溝設計を行っています。



拡幅が待たれる県道高渋線石原地区



田中 猛夫

施設の維持管理と 情報漏えいの責任

情報漏えいの責任

質問 令和5年度予算に計上のない八幡愛宕線道路改良工事および市道6-6188号線(分郷八崎・八崎地内)舗装復旧工事の事業実施上の課題と完了予定年度は。

建設交通部長 八幡愛宕線は事業実施に未同意の地権者がおり完了予定年度は未定ですが、継続して事業実施に取り組んでいきます。市道6-6188号線は、水路の老朽化も課題となっており、舗装工事に併せて適切な時期に実施をしてまいります。

質問 橘北小学校の外壁は老朽化により大変危険な状態だが、外壁の大規模修繕工事の予定は。

教育部長 実施年度につきましては、具体的には決まっております。他の学校の状況も考慮し、危険な箇所から、早めに行います。

市長支援者への個人情報提供

質問 個人情報の漏えいに関し市職員が法令違反により告訴された。市長は、個人情報提供はすべて市職員ではなく市長が支援者に提供したとの記者会見を行ったが、記者会



水路工事と併せて実施される
舗装復旧工事

見の発言は虚偽ではなかったのか。
市長 情報提供は、数々の違法行為を行っている人物の調査を行い、市への告発を求めてきた人と相互に情報共有を目的に私が行ったもので、虚偽ではありません。

質問 個人情報提供は、いかなる理由があっても、第三者に提供してはならない。市長の道義的責任は。

市長 森林法違反、地方税法違反などを行う人物の違法行為により市に不利益が生じないよう責任を果たし、一方で市民の情報は責任を持ちしっかりと守っていきます。



埴田 裕之

渋川市民のための行政へ

農業支援

質問 技能実習生やドローンの普及について、本市独自の支援は。

産業観光部長 従事者の高齢化や担い手不足の解消につながることから、国や県の動向を注視し、市としての支援を検討していきます。

庁用バス

質問 総務部と教育部で計8台のバスを所有している。台数を削減し民間委託を増やす考えはあるか。

総務部長 庁用バスは運転手の高齢化等の諸課題もあるため、委託も含めた在り方の検討をします。

教育部長 支援バスは特色ある教育環境の一つであるため当分の間現状維持しつつ、検討します。

庁内資料の管理

質問 市民の固定資産評価証明書を市長自ら第三者へ流出させたとのことだが、個人情報保護法・地方税法に抵触する。調査のためなら法律違反を犯してもいいのか。

市長 数々の違法行為を行っている人物の告発を市に要求してきた人との情報共有であり、法律に抵

触するという認識はありません。

質問 公印使用記録簿や庁内起案書、市民からの上申書等が流出した。市長が外部へ漏らしたものは違法行為を行った人物の不法行為に関する情報のみです。すべて私が外部関係者に提供しました。

質問 個人情報等の漏えいについて、市長の今後の対応と責任は。
市長 あたかも犯罪を犯したような言い方は職員も含め人権の侵害にあたります。また、今後について、私から申すことはありません。

○個人情報の保護に関する法律	
	(平成十五年五月三十日) (法律第五十七号)
個人情報の保護に関する法律をここに公布する。	
個人情報の保護に関する法律	
目次	
第一章	総則(第一条-第三条)
第二章	国及び地方公共団体の責務等(第四条-第六条)
第三章	個人情報の保護に関する施策等
第一节	個人情報の保護に関する基本方針(第七条)
第二节	国の施策(第八条-第十一条)
第三节	地方公共団体の施策(第十二条-第十四条)
第四节	国及び地方公共団体の協力(第十五条)
第四章	個人情報取扱事業者等の義務等
第一节	総則(第十六条)
第二节	個人情報取扱事業者及び個人関連情報取扱事業者の義務(第十七条-第四十条)
第三节	匿名加工情報取扱事業者等の義務(第四十一条、第四十二条)
第四节	匿名加工情報取扱事業者等の義務(第四十三条-第四十六条)
第五节	民間団体による個人情報の保護の推進(第四十七条-第五十六条)
第六节	雑則(第五十七条-第五十九条)

情報漏えいは市長か？副市長か？

一般質問



須田 勝

市民のしあわせが第一

自治会のあり方

質問 現在の市全体の世帯数と自治会加入件数、また自治会未加入世帯への行政サービスの対応は。

市民環境部長 市全体の世帯数は3万2716世帯で自治会加入世帯数は2万7633世帯です。自治会への加入未加入にかかわらず行政事務等を各地区自治会連合会と委託契約を結び実施しています。

質問 基本的な市と自治会のかかり方で、市における自治会の在り方と、市から自治会へ依頼している事項はどのようなことか。

市民環境部長 自治会と市は互いに自立した対等な立場のパートナーとして、より良い地域づくりに取り組んでいます。自治会へは、行政事務や各所属からの多種多様な業務を依頼しています。

質問 自治会の活動や事業に市職員が介入していると感じられることが多々あり、内政干渉とみるが、

市民環境部長 市自治会連合会と市が協働で作成した自治会マニュアルに従い実施していますので、

内政干渉には当たりません。

終活の介護施設支援

質問 各地区に介護施設が増えてきているが、介護認定を受けた市民が入所を希望しても無年金や少額年金者は経済的に入れない場合がある。入所への手当の考えは。

高齢者安心課長 低所得高齢者の施設入所については、介護支援専門員などの専門職が相談に応じます。その中で、さまざまな負担軽減制度がありますので、引き続きそちらを活用することで、対応してまいります。



少額年金者の入所支援を望む



田邊 寛治

外から見た渋川市と広報戦略

質問 市長が実践する公平、公正な政治とは。

市長 子どもを真ん中に、誰一人取り残さない共生社会の推進などを基本的な考えとして、公平公正な責任のある市政を行っています。

質問 ハラスメント調査結果の報道について、議会がクローズアップされていたが。

総合戦略部長 社会的関心が高いと報道が判断し、議会ハラスメントを大きく取り上げたと思います。

質問 渋川市の個人情報漏えいに関し、個人情報保護法と市の個人情報保護条例について説明を。

総務部長 本年4月から個人情報の保護は、条例から法律に根拠規程が変わりましたが、その内容はおおむね同様となっています。

質問 教育施策から見た子どもたちの将来像とは。

教育長 国際的視野に立って共生社会をたくましく生きることができ力を身につけ、夢の実現に大きく羽ばたいてほしいと考えます。

質問 各種教育事業の成果は。

教育部長 英語教育充実事業を通して、英語への興味・関心・意欲が高まっています。また、ICTの有効活用も進んできています。

質問 不登校対策の概要や効果は。

教育長 子どもたちが困っているところに寄り添い、適切な支援を今後も行っていく予定です。

質問 教員のなり手不足の対応や、教育投資により育てた人材をまわすにつなげるには。

教育長 ふるさと渋川を愛する子どもたちを育てるため、さまざまな教育事業を充実させていきます。



実施されたハラスメント研修

令和5年9月定例会の審議結果

条例の改正 原案可決

- 渋川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 渋川市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

条例の制定 原案可決

- 渋川市市長会見に関する調査第三者委員会設置条例

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて(3件)

人 事 同 意

- 人権擁護委員候補者の推薦について(3件)

人 事 不 同 意

- 渋川市副市長の選任の同意について

決 議 否 決

- 市の保有する個人情報漏えいの調査に関する決議

懲 罰 動 議 懲罰を科さない

- 後藤弘一議員に対する懲罰の件
- 加藤幸子議員に対する懲罰の件

令和5年度補正予算 原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第4号)
- 渋川市一般会計補正予算(第5号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第1号)

令和4年度決算 認 定

- 渋川市一般会計歳入歳出決算について
- 渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市介護保険特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市農産物直売事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市小野上温泉事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市交流促進センター事業特別会計歳入歳出決算について

- 渋川市下水道事業等会計決算について

令和4年度決算 原案可決・認 定

- 渋川市水道事業会計欠損金の処理及び決算について

請 願 ・ 陳 情 採 択

- 地方財政の充実・強化に関する請願
- ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について
- 義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について

請 願 ・ 陳 情 不 採 択

- 国に対し「適格請求書保存方式(インボイス制度)の10月からの実施延期と制度の中止を求める意見書」を送付することを求める請願書
- 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書

意 見 書 原案可決

- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- 少人数学級及び教職員定数の改善に係る意見書
- 義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

そ の 他 原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 財産の取得について
- 団体営渋川第五地区(八木沢貯水池)土地改良事業の施行について

令和5年第2回臨時会の審議結果 (8月10日開催)

決 議 否 決

- 市の保有する個人情報漏えいの調査に関する決議

令和5年第3回臨時会の審議結果 (10月4日開催)

人 事 同 意

- 渋川市副市長の選任の同意について

決 議 可 決

- 市の保有する個人情報漏えいの調査に関する決議

議会報編集委員会

- 委員長 反町 英孝
- 副委員長 後藤 弘一
- 委員 中澤 功史
- 委員 田村 なつ江
- 委員 田中 猛夫
- 委員 山内 崇仁
- 委員 角田 喜和
- 委員 板倉 正和

(編集委員 板倉 正和)

編集後記

今年には異常な暑さが続く中でも、お祭り、花火大会、運動会などさまざまな行事が復活し、少しずつコロナ禍前の日常に戻っているように思えます。今後は、3年を超える年月で得た知識や経験を生かし、前向きな気持ちで日々過ごしていきたいものです。